

木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト第8回本会議
高潮・洪水災害での広域避難の取組状況と課題

取組事例（できていること）

①防災出前講座等の機会を活用した広域避難の啓発

- ・ 堤防の決壊による水害が発生した場合、市内の輪中地域では、広い範囲で長期間にわたる浸水被害が予想されることから、市民に対して、水害の発生が懸念される早い段階で、市外の親戚・知人宅等に広域避難（縁故避難）することを推奨しており、あらゆる機会を通じて周知啓発を行っている。

②災害時の相互応援に関する協定の締結

（R5: 飯田市（長野県） R6: 羽曳野市（大阪府））

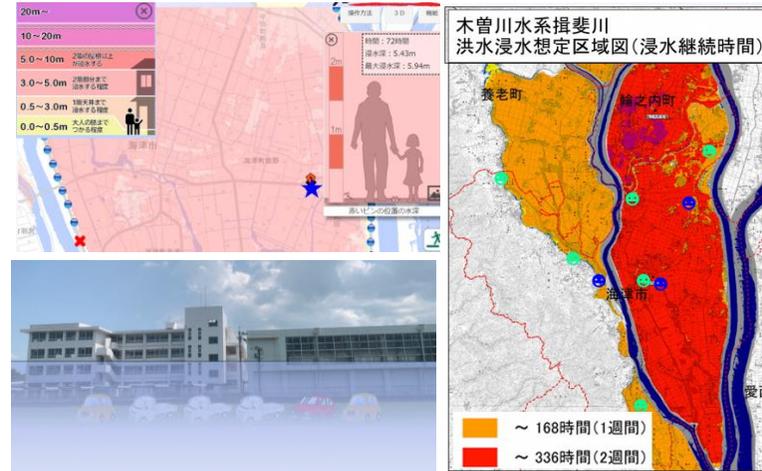
- ・ 災害発生時に、被災者支援や応急復旧等が円滑に実施されるよう、物資・資機材の提供や職員の派遣、被災者の受入れ等を行う災害時相互応援協定について、同時に被災する可能性の低い自治体との締結を進めている。

課題（できていないこと）

- ・ 県外を含めた広域避難先の確保
- ・ 県外避難にあたっての県との調整

実効性を担保するもの・こと

- ・ 市民に避難を決断させる情報の提供
- ・ 広域避難（県外避難）の実施に向けた県レベルの調整



①防災出前講座等で使用する資料



②災害時相互応援協定の締結

取り組み事例(できていること)

①西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定を締結に基づく実施細目の施行(令和6年3月1日から)

②愛知県・愛西市津波・地震防災訓練を実施(令和6年11月17日)

- ・ 愛西市の主たる応援市町村は、1 稲沢市 2 扶桑町となっており、中継拠点である佐織総合運動場から稲沢市の杏和高校屋内訓練場に大型バスを活用した広域避難のための搬送を実施。
- ・ 杏和高校では学生及び稲沢市職員、愛西市自主防災会等が協力して避難所運営、資機材の確認を実施。

課題(できていないこと)

- ・ マッチング先である扶桑町との訓練は実施できていない。今回の広域避難を参考に訓練立案及び訓練実施ができるよう進めていきたい。
- ・ 広域避難に関する周知が十分できていない。

実効性を担保するもの・こと

- ・ 特になし



防災訓練の様子

【津島市】の取り組み事例

愛知県西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定

取り組み事例(できていること)

① 図上訓練の実施

- ・ 年数回の図上訓練に参加している
- ・ 西尾張14市町村の相互応援協定実施細目に基づき、マッチング先の江南市と広域避難の実現に向けて「顔の見える関係」の構築を開始



課題(できていないこと)

- ・ 愛知県が進めるマッチング先との連携強化(詳細協議)
- ・ 分科会的に検討を進めている移動手段の確保
- ・ 避難行動要支援者(自力避難できない者)に対する行政の支援内容

実効性を担保するもの・こと

- ・ なし

【弥富市】の取り組み事例

①愛知県西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定

取り組み事例(できていること)

大規模地震発生を想定したリエゾン連携訓練(図上訓練)

- 大規模地震発生を想定した弥富市役所リエゾン連携訓練(図上訓練)において、一宮市と広域避難の受入先の連絡調整を行った。

課題(できていないこと)

- 広域避難者を受け入れる施設が決まっておらず、広域避難の実現に向けた実動訓練を実施できていない。

実効性を担保するもの・こと

- 関係市との連携強化、実動訓練の実施

②浸水時における広域避難に関する協定(愛知学院大学)

取り組み事例(できていること)

事前避難対象地域の住民などを対象とした広域避難訓練

- バスで広域避難先である愛知学院大学日進キャンパスへ移動し、避難施設の見学や避難時の手順の確認を行った。

課題(できていないこと)

- 広域避難に関する認知度、理解度の向上

実効性を担保するもの・こと

- 住民に対する啓発活動の更なる推進



弥富市役所リエゾン連携訓練
(令和6年10月31日)



愛知学院大学日進キャンパスへの
広域避難訓練(令和4年度～)



取り組み事例(できていること)

①カウンターパート(岩倉市)との相互の交流促進を開始

- ・ 愛知県西尾張市町村の災害応援に関する相互応援協定に基づき、カウンターパートの岩倉市と広域避難に向かって「顔の見える関係」の構築を開始
- ・ 今後、広域避難の具現化に向けて連携を深めていく

②防災訓練・学習会により理解促進

- ・ 「広域避難とは」 海拔0m以下であり、長期間湛水が続くという地域特性の周知
- ・ 「避難所開設・運営について」 特に広域避難先では、避難住民が主体となる

課題(できていないこと)

①町民に対する広域避難に関する知識・意識の浸透

- ・ 特に、防災に関して無関心な住民層に対する啓発が問題

②具体的な広域避難の計画

- ・ 具体的な避難先を始めとした計画を提示できていないので、住民に対する説得力に欠ける

実効性を担保するもの・こと

- ・ カウンターパートとの具体的な計画の策定
- ・ 広域避難に関する理解促進、住民の具体的な避難の選択肢とさせる



連携交流に向けた打合せ R6.11.21



須西小学校3年生防災授業支援
シェイクアウト訓練 R6.5.24



在日外国人に対する防災学習支援
R6.9.22

【飛島村】の取り組み事例

愛知県西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定

取り組み事例(できていること)

①大口町への広域避難に係る協議の調整

- 協定実施細目に基づき大口町との面談及び意見交換の場を調整中

②事前避難先として名古屋市内のホテル等施設の情報掲載

- 名古屋市中村区内のホテル・旅館業組合と協議し、村公式HPへ掲載することに同意のあった施設の一覧を掲載(協議済であり、公開準備中)



課題(できていないこと)

- 自治体規模の差も踏まえて相互応援を行う上での飛島村としてのメリットの整理
- 自治体間の協定に限らず民間施設を視野に入れた広域避難の検討

実効性を担保するもの・こと

- 上記課題の解決を進めた上で自治体間の個別協定などを念頭に進める予定

浸水時における広域避難に関する協定

取り組み事例(できていること)

①桑名市災害時広域避難計画の策定(R5)

- ・ 南海トラフ地震発生時に適切な避難行動をとることができるよう、主に市内の高台の避難所への広域避難の方針を示した「桑名市災害時広域避難計画」を策定した。今後、大規模風水害時の避難行動を追加するかたちでバージョンアップを図る。

②広域避難訓練の実施(R6)

- ・ 「桑名市災害時広域避難計画」をもとに、市内の高台の避難所に浸水想定区域から避難してきた避難者を受け入れるという広域避難訓練を、それぞれの地域が合同で実施した。

③いなべ市、東員町への広域避難の協議(R5～)

- ・ 桑員地域2市2町による「浸水時における広域避難に関する協定」(H28)に基づき、いなべ市、東員町に避難者の受入れ要請を行った場合の、具体的な避難先施設等を検討することで合意した。

④多度第2工業団地車中避難協定締結(R6)

- ・ 市外への避難者を減らすため、市内の高台にある多度第2工業団地の企業群と車中避難所の設置・運営にかかる協定を締結することで避難所を確保した。

課題(できていないこと)

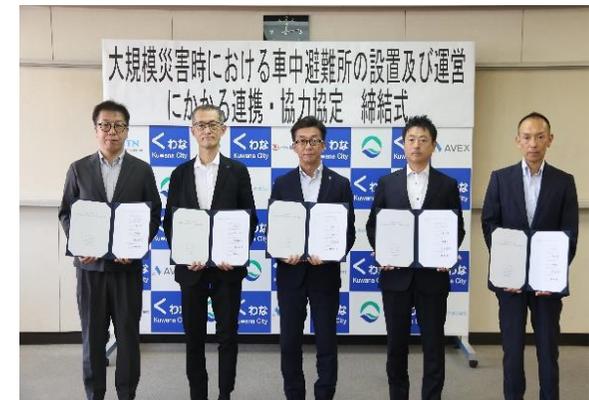
- ・ 桑名市内における民間の施設を含めたさらなる避難所の確保
- ・ 具体的な広域避難時のオペレーション

実効性を担保するもの・こと

なし



合同で実施された自主防災訓練



車中避難所にかかる協定締結式

浸水時における広域避難に関する協定

取り組み事例(できていること)

①避難者の移送手段の確保

- ・ 災害等の緊急時において、移動の手段を持たない要配慮者などを避難所等に移送する協定を三重交通株 (H23.8) と株セントラルサービス (H27.4) と締結した。

②防災ガイドブックの策定 (R2.8)

- ・ 洪水・津波・高潮のハザードマップと広域避難の場合を含む避難のタイミング等を網羅した防災ガイドブックを作成し、全戸配布や町HPなど、様々な媒体を活用して周知している。

③指定避難所の確保 (R5.1)

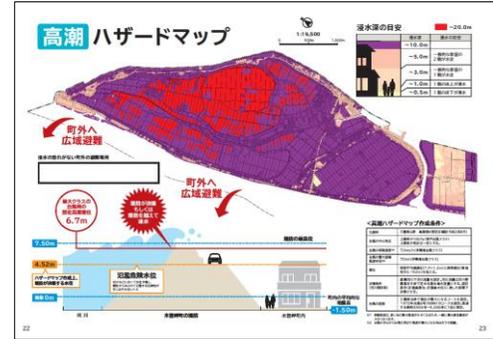
- ・ 地震・津波、風水害、その他の災害等が発生した、又は発生する恐れがある場合に、指定避難所として町民を受け入れる協定を県立いなべ総合学園高等学校と締結した。

④指定緊急避難場所の確保 (R6.1)

- ・ 地震・津波、風水害、その他の災害等が発生した、又は発生する恐れがある場合に、指定緊急避難場所として干拓地内のESR弥富木曾岬DCを使用できる協定を締結した。

⑤防災訓練の実施 (R6.2)

- ・ 南海トラフ地震を想定した全町民対象の指定緊急避難場所への避難訓練等を定期的実施している。



防災ガイドブックより

課題(できていないこと)

- ・ 更なる広域避難先の確保、避難所を運営する人員の確保。
- ・ 広域避難先である「いなべ総合学園」における避難所運営の具体的なマニュアルがない。
- ・ また、駐車場の不足も想定され、車中泊にも対応できるよう周辺で駐車場の確保が必要。

実効性を担保するもの・こと

- ・ 地域住民の防災教育の推進
- ・ 広域避難先の確保や広域避難に要する物資等の確保に関する新たな協定の締結

取り組み事例(できていること)

- ①愛知県西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定 実施細目の施行(令和6年3月1日～)
海部地域の自治体のマッチング

被災市町村	津島市	愛西市	弥富市	あま市	大治町	蟹江町	飛島村
主たる応援市町村	1 江南市 2 岩倉市	1 稲沢市 2 扶桑町	1 一宮市 2 江南市	1 犬山市 2 大口町	1 扶桑町 2 犬山市	1 岩倉市 2 一宮市	1 大口町 2 稲沢市

- ②愛知県・愛西市津波・地震防災訓練の実施(令和6年11月17日)

「愛知県西尾張市町村の災害対応に関する相互応援協定」の施行(平成29年7月6日)以降において、広域避難に係る実動訓練を初めて実施



- ③ゼロメートル地帯広域防災活動拠点 木曾三川下流域Ⅱ(弥富市・海南こどもの国) 建設工事開始(令和6年12月2日～) → 令和8年度完成予定

- ④海部地域津波・浸水避難研究会(構成:海部地域各市町村等)において広域避難の取組方針を協議(第1回:令和6年9月11日、第2回:令和7年1月10日)
広域避難者数の規模や想定避難経路、優先的に開設すべき中継拠点の活用など、事後の広域避難の進め方について、管内市町村防災担当課長、県防災安全局と意見交換

課題(できていないこと)

広域避難の取組方針について管内首長等と共有

実効性を担保するもの・こと

なし

木曾三川下流域Ⅱ(弥富市)完成予想図



取り組み事例(できていること)

①岐阜県及び市町村災害時相互応援協定の締結

- ・ 県と県下全42市町村との間で「岐阜県及び市町村災害時相互応援協定書」を締結している。

課題(できていないこと)

- ・ 定期的に市町村と意見交換を実施しているが、その中で、同協定の実施を妨げるような大きな障害等を懸念する意見は、現時点で特段見当たらない。

実効性を担保するもの・こと

- ・ 県総合防災訓練等による習熟。
- ・ 同協定第9条第1項及び第2項に基づく意見交換の実施等。



R6岐阜県総合防災訓練より

【三重県】の取り組み事例

取り組み事例(できていること)

①桑員地域2市2町による「浸水時における広域避難に関する協定」(平成28年10月26日締結)

- ・ 桑名市、いなべ市、木曾岬町及び東員町による海拔ゼロメートル地帯で大規模な浸水が発生した場合における広域避難に関する事項を定めた協定。
- ・ 構成市町及び県で、協定に基づく具体的な避難の手続き等についての検討を進めている。



締結式における4市町及び桑名地域防災総合事務所所長

②木曾岬町と県立いなべ総合学園による「災害時における避難所としての使用に関する協定」(令和5年1月30日締結)

- ・ 木曾岬町は町内全域が海拔ゼロメートル地帯であることから、浸水の心配がない避難先として県立高校を町外の避難施設として定めた協定。



締結式における木曾岬町長(写真右)といなべ総合学園校長

課題(できていないこと)

- ・ 「広域避難が本当にできるのか」について具体的な訓練やシミュレーションをする必要があるものの、着手にいたっていない。
- ・ 広域避難先の受け入れ施設を民間施設も含め増やす必要があるものの、現状は十分でない。

実効性を担保するもの・こと

上記協定に基づく県と2市2町の協議の枠組み